

# 大阪府都市基盤施設維持管理技術審議会

## 第 1 回 設備部会

### 《本日の審議事項》

# 現計画の振り返り及び審議事項

## ◆現計画の振り返り（現状確認と効果の検証）

### 1. 現状の確認

『点検等検証シート』により、維持管理の現状を確認。

### 2. 効果検証

事業分野毎に、維持管理の実施状況について、現行動計画との照合を行い『効果検証シート』にて、①実施状況 ②実施内容の評価 ③将来（10年後）の運用を○、△、×の3段階で評価し、○以外の課題点を抽出。

#### 定義

評価	①実施状況 (行動計画通りの取り組み)	②実施内容の評価 (行動計画に示された取り組み)	③将来（10年後）の運用 (行動計画通りの取り組み)
『○』	できている。	問題なし	10年後も運用が可能。
『△』	一部できていない。	部分的に改善が必要である。	部分的に改善が必要である。
『×』	できていない。	全体的に見直しが必要である。	全体的に見直しが必要である。

## ◆審議事項

○現計画の振り返りによる課題に対する取組方針（案）

○審議会委員より出された意見に対する取組方針（案）

# 現計画の振り返り（現状確認と効果の検証）

## ◆点検等検証シートによる現状確認

様式	項目	確認内容
様式 1 - 1	致命的な不具合	点検の頻度、体制（直営、委託（メンテ、メーカー、指定管理者）、不具合発生の可能性部位や不可視部分の点検手法の確認など。
様式 1 - 2	効率的・効果的な点検	予防保全のための取り組み、補修のタイミング、更新時期の見極めの要素
様式 1 - 3	データ蓄積・活用・管理	データ蓄積、データの活用、データの管理の状況確認
様式 1 - 4	点検の重点化	評価の方法（多段階or 2段階）、点検頻度を変更するなどの工夫
様式 1 - 5	府民協働	府民と協働で実施している取り組み
様式 1 - 6	現場での課題	点検の実施における課題やデータ蓄積における課題、データ活用における課題など
様式 1 - 7	点検員	直営点検や委託点検の頻度に応じた実施体制（発注件数、点検人員、発注件数など）
様式 2	現在の維持管理手法	①現在の維持管理手法（時間計画、状態監視、事後保全） ②今後の維持管理手法と必要となるデータや点検頻度などの要素
様式 3	重点化指標	不具合発生確率や社会的影響度の見極めのために考慮すべき内容、及び重点化指標の活用の状況
様式 4	更新時期の見極め	過去24年間の更新について（～R4末）
様式 5 - 1	更新要因について	更新要因の整理（物理的、機能的、経済的、社会的要因など）
様式 5 - 2	更新見極め要因	不具合発生の確率や社会的影響度などの考慮すべき各要素
様式 5 - 3	寿命の考え方	公会計上の耐用年数、工学的な寿命、計画的な寿命

# 現計画の振り返り（現状確認と効果の検証）

## ◆大阪府都市基盤施設長寿命化計画 行動計画の効果の検証

### I. 効率的・効果的な維持管理の推進

NO.	項目	評価（○or△or×）		
		A.実施状況	B.実施評価	C.将来（10年後）の運用
①	維持管理業務フロー			
②	点検業務の充実			
③	点検、診断・評価対策実施のフロー			
④	定期点検を含む点検業務のフロー			
⑤	点検業務の実施主体および実施頻度			
⑥	健全度評価基準および健全度判定要領			
⑦	維持管理手法の選定フロー			
⑧	維持管理手法			
⑨	維持管理水準の設定			
⑩	考慮すべき視点と更新・改築判定フロー			
⑪	設備の寿命の考え方			
⑫	重点化指標・優先順位の考え方			
⑬	日常的な維持管理の着実な実践			
⑭	データの蓄積管理			
⑮	維持管理を見通した新設工事上の工夫			
⑯	新たな技術、材料、工法の活用と促進策			

### II. 持続可能な維持管理の仕組みづくり

NO.	項目	評価（○or△or×）		
		A.実施状況	B.実施評価	C.将来（10年後）の運用
⑰	人材育成と確保、技術力の向上と継承			
⑱	入札契約制度の改善			